



新年の挨拶状



いい そーぐわち でーびる。今年んゆたさるぐとう願え さびら。



子(ね)年がスタートしました。「正月」は一年の最初の月、特に新年の祝いをする期間の三が日(1月1日から1月3日)をいうことが多いようです。また、年の最初の日を元日(がんじつ)といい、1月1日の0時0分から23時59分の24時間のことを指します。一方元旦(がんとん)は、1月1日の朝、午前中を指すといわれており、元旦の「旦」の時は、地平線・水平線から太陽が昇ってくる様子、つまり日の出を表しているといわれています。皆さんは「元日」と「元旦」の違いをご存知でしたか。

ところで、皆さんは知人・友人へ年賀状を出しましたか？年賀状は、新年最初の挨拶状です。年賀状は、奈良時代から存在していたそうで、平安時代から新年の始まりのお祝いを文字として送り合う習慣ができたといわれています。明治6年12月1日に郵便はがきが発行されてから、日本の年賀状文化が誕生されたといわれています。日頃お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて送るもので、日本に古くからある習慣です。

令和2年の最初のトピックスは、『年賀郵便物元旦配達物数』について調べてみました。

図1と表1の年賀郵便物元旦配達物数をみてみましょう。令和2年元旦に全国でお届けした年賀郵便物数は、12億87百万通で前年比89.8%でした。沖縄県は、約6百万通で前年比90.2%となっており、年々減少しています。

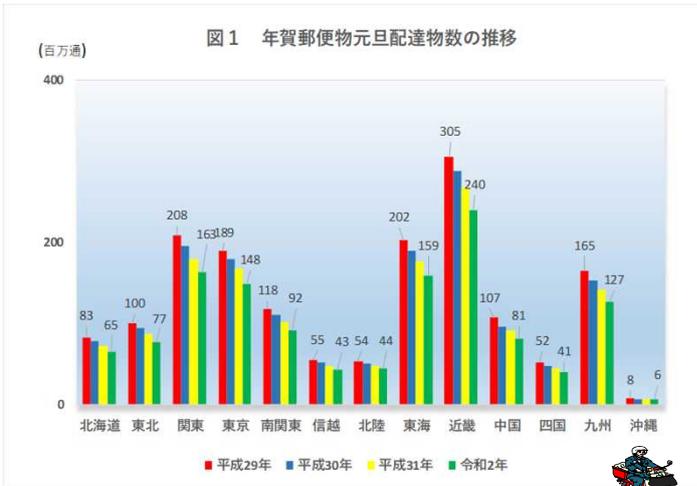


表1 年賀郵便物元旦配達物数

	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	平成31年と令和2年の比
北海道	83	78	72	65	89.3%
東北	100	94	87	77	88.9%
関東	208	195	179	163	91.0%
東京	189	179	168	148	88.2%
南関東	118	110	102	92	90.5%
信越	55	52	48	43	90.1%
北陸	54	51	48	44	91.2%
東海	202	190	177	159	90.1%
近畿	305	288	267	240	90.0%
中国	107	96	91	81	88.9%
四国	52	48	45	41	90.0%
九州	165	153	141	127	89.9%
沖縄	8	7	7	6	90.2%
全国	1,644	1,543	1,432	1,287	89.8%

資料：表1、図1、日本郵便株式会社(速報値)

次に、表2の九州7県における元旦配達物数の推移をみてみましょう。九州7県をみても、年々減少しているようです。県民一人当たりの配達数は、九州全体で全国と同水準であり、沖縄県(4.7通)と比較すると(表4)、2倍以上になっています。県別にみると、平成31年は大分県が12.7通で最も多く、佐賀県が11.2通、長崎県が11.1通の順となっております。

最後に、沖縄県内郵便局における元旦配達物数の推移をみてみましょう(表3)。やはり、県内で大規模な那覇中央郵便局が配達物数が多いようです。配達物数の推移を郵便局ごとに比較すると、沖縄郵便局のみが前年比103.3%と増加しており、その他の郵便局は減少していることがわかります。また、県民一人当たりの元旦配達物数(表4)を見ると、令和2年の全国値は、10通、一方、沖縄県は4.2通となっており、沖縄県は全国の半分以下の配達数になっていることがわかります。時代の流れによって年賀状の利用状況が確実に減少を続けているようです。

表2 九州7県における元旦配達物数の推移

年	単位	平成29年		平成30年		平成31年	
		配達物数	一人当たり	配達物数	一人当たり	配達物数	一人当たり
1	福岡	65,229	12.8	60,863	11.9	56,155	11.0
2	佐賀	10,655	12.8	10,146	12.3	9,214	11.2
3	長崎	17,457	12.7	15,937	11.8	14,840	11.1
4	熊本	22,843	12.8	21,198	12.0	19,136	10.9
5	大分	16,963	14.5	15,443	13.4	14,466	12.7
6	宮崎	11,964	10.8	10,836	10.0	10,093	9.3
7	鹿児島	19,676	11.9	18,341	11.2	17,174	10.6
8	九州	164,787	12.7	152,764	11.8	141,077	11.0

資料：日本郵便株式会社九州支社(速報値)

最近、新年の挨拶をSNS等で済ませる人も増えていますが、いつの時代でも手間と想いが込められた年賀状を受け取ると温かい気持ちになりますね。会えなくても近況を伝え合うことができる年賀状、一年に一度しか出すことのできない年賀状をこれからも続けていきたいですね。

※表1～表4について、単位未満は四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。

表3 沖縄県内元旦配達物数の推移(上位10郵便局)

順位	郵便局名	平成31年	郵便局名	令和2年	郵便局名	平成31年と令和2年の比
1	那覇中央	1,178	那覇中央	1,016	沖縄	103.3%
2	浦添	805	浦添	741	宜野湾	93.5%
3	宜野湾	443	宜野湾	414	浦添	92.0%
4	那覇東	440	那覇東	378	豊見城	90.8%
5	南風原中	374	南風原中	336	南風原中	89.8%
6	沖縄美里	318	沖縄	310	沖縄美里	89.3%
7	八重山	317	沖縄美里	284	首里北	87.8%
8	沖縄	300	八重山	274	八重山	86.4%
9	首里北	287	豊見城	257	那覇中央	86.2%
10	豊見城	283	首里北	252	那覇東	85.9%
	沖縄	6,740	沖縄	6,080	沖縄	90.2%

資料：表3～表4、日本郵便株式会社沖縄支社(速報値)

表4 県民一人当たりの元旦配達物数の推移

		平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
1	沖縄	5.5	5.3	5.0	4.7	4.2
2	全国	14.0	13.0	12.0	11.0	10.0

資料：表3～表4、日本郵便株式会社沖縄支社(速報値)

単位:通